

補綴装置別難易度平均点（保険既収載技術用）

【全部床義歯-1】

調査学会：日本歯科技工学会

区分番号	M018-2
技術名	有床義歯 総義歯

番号	工程番号	工程大項目	工程小項目	難易度平均点	有効回答数
ウ01	1	技工指示書の確認	A. 記載内容の確認	1.89	343
ウ05	4	作業模用型製作	A. ボクシング・模型材の練和・注入	2.12	302
ウ06	4	作業模用型製作	B. スプリットキャストの形成	2.05	288
ウ07	5	咬合床製作	A. 前準備・基礎床(仮床)	2.18	332
ウ08	5	咬合床製作	B. 咬合堤付着・整形	2.27	330
ウ09	6	咬合器付着	A. 上下顎模型の付着	2.39	286
ウ15	9	人工歯排列	A. 人工歯の選択	2.46	337
ウ16	9	人工歯排列	B. 前歯部排列	2.79	338
ウ17	9	人工歯排列	C. 臼歯部排列・咬合位設定	2.74	337
ウ18	10	歯肉形成	A. 前歯部・臼歯部形成	2.44	338
ウ20	12	埋没、流蠟	A. 埋没・流蠟	2.14	333
ウ21	13	義歯床(レジン)の重合	A. 前重合・填入	2.20	329
ウ22	13	義歯床(レジン)の重合	B. 重合後の取り出し	2.36	330
ウ25	14	咬合器再付着	A. スプリットキャスト法による再付着	2.24	257
ウ28	15	咬合調整	A. 選択削合／a. 咬頭嵌合位(中心咬合位)の調整	2.66	301
ウ29	15	咬合調整	A. 選択削合／b. 偏心咬合位の調整	2.77	286
ウ30	15	咬合調整	B. 自動削合	2.37	243
ウ31	15	咬合調整	C. 形態修正	2.54	284
ウ32	16	研磨	A. 模型からの取り外し	2.35	318
ウ33	16	研磨	B. 研磨／aレジン床	2.39	328
ウ40	19	最終確認	A. 各部の確認	2.39	324
ウ41/42	20	技工録作成	A. 技工録等の記入・確認	2.20	-

総合難易度平均点 **2.35**

現行所定点数 2,050

◎総合難易度構成比

難易度高い	難易度やや高い	難易度やや低い	難易度低い
10.7%	31.8%	40.2%	17.4%

「有床義歯 総義歯」においては、総合難易度平均点が（2.35点）となっている。工程別に見ると「人工歯排列：B. 前歯部排列（2.79点）」「咬合調整：A. 選択削合／b. 偏心咬合位の調整（2.77点）」「人工歯排列：C. 臼歯部排列・咬合位設定（2.74点）」が高めの難易度平均点となっている。

補綴装置別難易度平均点（保険既収載技術用）

【全部床義歯-2】

調査学会：日本歯科技工学会

区分番号	M019-2
技術名	熱可塑性樹脂有床義歯 総義歯

番号	工程番号	工程大項目	工程小項目	難易度平均点	有効回答数
ウ01	1	技工指示書の確認	A. 記載内容の確認	1.89	343
ウ05	4	作業模用型製作	A. ボクシング・模型材の練和・注入	2.12	302
ウ06	4	作業模用型製作	B. スプリットキャストの形成	2.05	288
ウ07	5	咬合床製作	A. 前準備・基礎床(仮床)	2.18	332
ウ08	5	咬合床製作	B. 咬合堤付着・整形	2.27	330
ウ09	6	咬合器付着	A. 上下顎模型の付着	2.39	286
ウ15	9	人工歯排列	A. 人工歯の選択	2.46	337
ウ16	9	人工歯排列	B. 前歯部排列	2.79	338
ウ17	9	人工歯排列	C. 臼歯部排列・咬合位設定	2.74	337
ウ18	10	歯肉形成	A. 前歯部・臼歯部形成	2.44	338
ウ20	12	埋没、流蠟	A. 埋没・流蠟	2.14	333
ウ23	13	熱可塑性樹脂の場合	C. 前準備・射出成形	2.43	173
ウ24	13	熱可塑性樹脂の場合	D. 重合後の取り出し	2.38	180
ウ25	14	咬合器再付着	A. スプリットキャスト法による再付着	2.24	257
ウ28	15	咬合調整	A. 選択削合／a. 咬頭嵌合位(中心咬合位)の調整	2.66	301
ウ29	15	咬合調整	A. 選択削合／b. 偏心咬合位の調整	2.77	286
ウ30	15	咬合調整	B. 自動削合	2.37	243
ウ31	15	咬合調整	C. 形態修正	2.54	284
ウ32	16	研磨	A. 模型からの取り外し	2.35	318
ウ34	16	研磨	B. 研磨／b熱可塑性樹脂床	2.63	171
ウ40	19	最終確認	A. 各部の確認	2.39	324
ウ41/42	20	技工録作成	A. 技工録等の記入・確認	2.20	-

総合難易度平均点 **2.38**

現行所定点数 2,850

◎総合難易度構成比

難易度高い	難易度やや高い	難易度やや低い	難易度低い
11.2%	32.3%	39.0%	17.4%

「熱可塑性樹脂有床義歯 総義歯」においては、総合難易度平均点が（2.38点）となっている。
 工程別に見ると「人工歯排列：B. 前歯部排列（2.79点）」「咬合調整：A. 選択削合／b. 偏心咬合位の調整（2.77点）」「人工歯排列：C. 臼歯部排列・咬合位設定（2.74点）」が高めの難易度平均点となっている。

補綴装置別難易度平均点（保険既収載技術用）

【全部床義歯－3】

調査学会：日本歯科技工学会

区分番号	M029
技術名	有床義歯修理

番号	工程番号	工程大項目	工程小項目	難易度平均点	有効回答数
ウ01	1	技工指示書の確認	A. 記載内容の確認	1.89	343
ウ37	18	修理	A. 模型製作・咬合器付着	2.18	328
ウ38	18	修理	B. 人工歯削合・排列	2.33	335
ウ39	18	修理	C. 研磨	2.25	334
ウ40	19	最終確認	A. 各部の確認	2.39	324
ウ41/42	20	技工録作成	A. 技工録等の記入・確認	2.20	-
総合難易度平均点				2.21	

現行所定点数

220

◎総合難易度構成比

難易度高い	難易度やや高い	難易度やや低い	難易度低い
7.8%	25.6%	45.7%	20.9%

「有床義歯修理」においては、総合難易度平均点が（2.21点）となっている。
工程別に見ても平均的に低めの難易度平均点となっている。

補綴装置別難易度平均点（保険既収載技術用）

【全部床義歯－4】

調査学会：日本歯科技工学会

区分番号	M030-2
技術名	有床義歯床裏装

番号	工程番号	工程大項目	工程小項目	難易度平均点	有効回答数
ウ01	1	技工指示書の確認	A. 記載内容の確認	1.89	343
ウ09	6	咬合器付着	A. 上下顎模型の付着	2.39	286
ウ25	14	咬合器再付着	A. スプリットキャスト法による再付着	2.24	257
ウ28	15	咬合調整	A. 選択削合／a. 咬頭嵌合位(中心咬合位)の調整	2.66	301
ウ29	15	咬合調整	A. 選択削合／b. 偏心咬合位の調整	2.77	286
ウ30	15	咬合調整	B. 自動削合	2.37	243
ウ31	15	咬合調整	C. 形態修正	2.54	284
ウ35	17	義歯床裏装	A. 埋没・レジン填入	2.37	307
ウ36	17	義歯床裏装	B. 研磨	2.32	306
ウ40	19	最終確認	A. 各部の確認	2.39	324
ウ41/42	20	技工録作成	A. 技工録等の記入・確認	2.20	-
総合難易度平均点				2.36	

現行所定点数

750

◎総合難易度構成比

難易度高い	難易度やや高い	難易度やや低い	難易度低い
11.4%	31.6%	39.1%	18.0%

「有床義歯床裏装」においては、総合難易度平均点が（2.36点）となっている。
 工程別に見ると「咬合調整：A. 選択削合／b. 偏心咬合位の調整（2.77点）」
 「咬合調整：A. 選択削合／a. 咬頭嵌合位（中心咬合位）の調整（2.66点）」
 が高めの難易度平均点となっている。

補綴装置別難易度平均点（保険既収載技術用）

【全部床義歯－5】

調査学会：日本歯科技工学会

区分番号	
技術名	個人トレー

番号	工程番号	工程大項目	工程小項目	難易度平均点	有効回答数
ウ01	1	技工指示書の確認	A. 記載内容の確認	1.89	343
ウ02	2	研究模型製作	A. 概形印象確認・模型調整	2.09	322
ウ03	3	個人トレー製作	A. 前準備・トレー用レジン圧接	2.08	330
ウ04	3	個人トレー製作	B. 外形付与・研磨	2.02	325
ウ40	19	最終確認	A. 各部の確認	2.39	324
ウ41/42	20	技工録作成	A. 技工録等の記入・確認	2.20	-
総合難易度平均点				2.12	

現行所定点数

◎総合難易度構成比

難易度高い	難易度やや高い	難易度やや低い	難易度低い
7.2%	23.1%	43.4%	26.3%

「個人トレー」においては、総合難易度平均点が（2.12点）となっている。
工程別に見ても平均的に低めの難易度平均点となっている。

補綴装置別難易度平均点（保険既収載技術用）

【全部床義歯－6】

調査学会：日本歯科技工学会

区分番号	
技術名	咬合床

番号	工程番号	工程大項目	工程小項目	難易度平均点	有効回答数
ウ01	1	技工指示書の確認	A. 記載内容の確認	1.89	343
ウ05	4	作業模用型製作	A. ボクシング・模型材の練和・注入	2.12	302
ウ06	4	作業模用型製作	B. スプリットキャストの形成	2.05	288
ウ07	5	咬合床製作	A. 前準備・基礎床(仮床)	2.18	332
ウ08	5	咬合床製作	B. 咬合堤付着・整形	2.27	330
ウ40	19	最終確認	A. 各部の確認	2.39	324
ウ41/42	20	技工録作成	A. 技工録等の記入・確認	2.20	-

総合難易度平均点 **2.16**

現行所定点数

◎総合難易度構成比

難易度高い	難易度やや高い	難易度やや低い	難易度低い
7.5%	24.7%	43.7%	24.1%

「咬合床」においては、総合難易度平均点が（2.16点）となっている。
 工程別に見ても平均的に低めの難易度平均点となっている。

補綴装置別難易度平均点（保険既収載技術用）

【全部床義歯-7】

調査学会：日本歯科技工学会

区分番号	
技術名	テンチの歯型法を用いる場合

番号	工程番号	工程大項目	工程小項目	難易度平均点	有効回答数
ウ19	11	歯型採得(テンチの歯型)	A. 採得前準備・咬合面歯型採得	2.35	247
ウ26	14	咬合器再付着	B. テンチの歯型法／a. テンチの歯型への適合確認	2.51	202
ウ27	14	咬合器再付着	B. テンチの歯型法／b. 上下顎義歯付着	2.40	210
総合難易度平均点				2.42	

現行所定点数

◎総合難易度構成比

難易度高い	難易度やや高い	難易度やや低い	難易度低い
10.8%	32.9%	43.1%	13.2%

「テンチの歯型法を用いる場合」においては、総合難易度平均点が（2.42点）となっている。
 工程別に見ると「咬合器再付着：B. テンチの歯型法／a. テンチの歯型への適合確認（2.51点）」が高めの難易度平均点となっている。

補綴装置別難易度平均点（保険既収載技術用）

【全部床義歯－8】

調査学会：日本歯科技工学会

区分番号	
技術名	フェイスボウを用いる場合、調節のみ（総義歯）

番号	工程番号	工程大項目	工程小項目	難易度平均点	有効回答数
ウ10	6	咬合器付着	B. フェイスボウトランスファー	2.74	
ウ11	6	咬合器付着	C. 上下顎模型付着	2.54	
総合難易度平均点				2.64	

現行所定点数

◎総合難易度構成比

難易度高い	難易度やや高い	難易度やや低い	難易度低い
16.7%	41.9%	29.7%	11.6%

「フェイスボウを用いる場合、調節のみ（総義歯）」においては、総合難易度平均点が（2.64点）となっている。
 工程別に見ると「咬合器付着：B. フェイスボウトランスファー（2.74点）」が高めの難易度平均点となっている。

補綴装置別難易度平均点（保険既収載技術用）

【全部床義歯－9】

調査学会：日本歯科技工学会

区分番号	
技術名	ゴシックアーチトレーサー作成調整のみ

番号	工程番号	工程大項目	工程小項目	難易度平均点	有効回答数
ウ12	7	描記装置付着	A. ゴシックアーチトレーサー取付け	2.86	234
ウ13	8	下顎模型再付着	A. 上・下顎記録床による付着	2.65	257
ウ14	8	下顎模型再付着	B. 顎路角の調節	2.83	246
総合難易度平均点				2.78	

現行所定点数

◎総合難易度構成比

難易度高い	難易度やや高い	難易度やや低い	難易度低い
22.7%	41.1%	27.1%	9.1%

「ゴシックアーチトレーサー作成調整のみ」においては、総合難易度平均点が（2.78点）となっている。

工程別に見ると「描記装置付着：A. ゴシックアーチトレーサー取付け（2.86点）」

「下顎模型再付着：B. 顎路角の調節（2.83点）」が高めの難易度平均点となっている。

